

## 【回答者：町長】

Q： 原発問題に揺れる今現在、これからどの様に原発の汚染と向き合い、どの様に対処して行けば良いのか。原発問題に詳しい「環境・共生技術研究所所長 佐浦好一氏」に西会津町で講演してくださいと依頼しましたところ、ぜひ西会津町民の皆様に原発の真実を伝えたいとの旨、快諾を得ました。日時、会場の設定をしていただければ幸いです。

(60代 男性)

A： 地震災害と共に放射能汚染については重大な感心ごとであります。私も原発問題と放射線、放射能汚染について町民を対象とした学習会が必要と考えています。

現在、その道に詳しい方を講師に開催するよう指示しているところです。日程等が明らかになり次第対応します。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 町民税務課

Q： 道の駅の交差点に「西会津町」というモニュメントが二つありますが、まったく目立ちません。また、この町のキャラクターである「こゆりちゃん」も、対外的にはまったく知られていません。モニュメントの上に「こゆりちゃん」を乗せたらどうでしょう。両方とも目立つと思います。町の玄関としての道の駅付近もより華やかになり、町のイメージも良くなるのではないのでしょうか。(問題は、キャラクターの制作費用と取り付け費用ですが)

(60代 男性)

A： 道の駅への「こゆりちゃん」モニュメント設置については、町としても検討しておりました。ご指摘の県道にあるモニュメントは県の所有物であります。県との協議も必要ですが、そこが良いのかどうかを含めて、十分検討してみたいと思います。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 商工観光課

Q : 深夜早朝のさゆり公園入り口の交差点は、信号を無視する定期便等が見受けられます。赤信号できちんと停止しても、1台も車が来ないからです。大山入り口の交差点は、赤でも右折や左折をする他県ナンバーが見受けられます。故障と思うぐらい、車両感応式信号機の待ち時間が長いからです。せっかくこの町に観光に来られたのに申し訳なく思います。道の駅の交差点を避けて、リオンドールや道の駅に迂回する車が多く見受けられます。やっぱり、待ち時間が長いからです。これらは、実情に合わない信号機のプログラミングが、主な原因だと思われます。「大山まつり」も近いし、早急に実情にあった再プログラミングが必要だと思います。改善をお願いします。円滑な交通の流れは、時間や燃費等でエコにも大きく関係します。行政は自分の受け持ちだけでなく、広い視点に立って判断する必要があると思います。自分の受け持ちだけしか考えないのは、この国の悪しき習慣です。日中の感応式の待ち時間は、黒沢入り口の信号機ぐらいが、ストレスを感じなくて、ちょうどいいと思います。また、元に戻る時間は、利用する車が少ないので、もう少し短くしてもいいのかと思います。「警察や公安の管轄だから」などという回答は期待していません。喜多方警察署と少し話をしましたが、結構前向きでした。

(60代 男性)

A : 信号機での待ち時間の件であります。喜多方警察署に現地調査をお願いしました。

その結果、国道49号さゆり公園入り口交差点信号機については、大山まつりが始まる6月より夜9時から朝6時までを点滅信号とし、また大久保入り口の信号機については感応式の待ち時間を30秒ほど短縮操作とするなどのプログラムの改善をしていただきました。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 町民税務課

Q : 道の駅にある沖縄のシーサーは、冬になるとブルーシートで雪がこいをします。大切にすることは立派ですが、肝心のシーサーが見えなくなってしまう。透明なシートにしたらいかがでしょうか。透明な大きなポリ袋が一番経済的だと思います。冬に訪れる沖縄の方も、大切に扱っている様子を見て、喜ばれることと思います。

(60代 男性)

A : 四季に拘わらず「シーサー」のモニュメントがそのままの形で設置してあることが一番です。

しかしながら、材質が素焼きの陶器のために冬期間の雪、寒さに耐えられるか、専門的判断から覆いしているものと思われます。寒暖の差など調べながら対応していきます。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 商工観光課

Q： 国道の大山入り口に、ほとんど利用されていない歩道橋があります。それに、横断幕や看板を取り付けて、町の広告塔として利用したらいかがでしょうか。数少ないのぼり旗などより、バッチリ目立つと思いますし、町外の方々にも効果的にアピールできると思います。

「国交省の管轄だから」とか「大山まつりは、町主催でないので」などという「行政目線の回答」は期待していません。観光客誘致は、単なるかけ声だけでなく、官民一体となった具体的な工夫と取り組みが必要だと思います。

(60代 男性)

A： 国道など往来の多い箇所に町の広告宣伝塔を設置することは、大変重要なことです。しかし、道路法での禁止区間や建物等で規制がかかっている場合は、自治体と言えども難しいと考えます。

ご提言の歩道橋への横断幕について多目的に活用できないか、今後国道事務所長に規制緩和について意見を聞いてみたいと思います。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 商工観光課

Q： 公民館大ホールのカーテンの焦げあとを改善してください。

温風ヒーターのそばのカーテンに焦げあとがあります。

数年前と比べれば、改善した跡は見られますが、こげた部分を切り取ってミシンをかけるなど、きちんと改善した方が良いと思います。見た感じが良くありませんし、町の人には慣れてしまっていて、気にならないのかもしれませんが、町外の人が見れば危険と思うはずです。

火の用心を町民に呼びかける前に、まずは、行政自身の足元からではないでしょうか。

(60代 男性)

A： 公民館大ホールは使用率も高いので、焦げたカーテンが目につくようであれば補修するのは当然です。

町外などの方から危険と思われる状態かどうか早速調べて改善します。

回答日： 平成23年6月1日 担当課： 教育課

Q： 「フレンズワールド」「ミニチュアゴルフ」の施設において、遊具の老朽化が目立ちますので、遊具の修繕をお願い致します。

どうしても町の予算から修繕費用の捻出が難しいのであれば、使用料の値上げをするしかないのではないのでしょうか。(現在、3歳以上100円、付き添い無料という料金設定を、例えば子供200円または300円、大人100円または200円にする、など。)

町が管理している施設ですので、大きな事故が起こる前に、早急に壊れかかっている所を修繕して頂きたいと思います。

また、付き添いとしてお年寄りの方も多くいらっしゃいますので、施設内に何箇所かベンチを設定してはいかがでしょうか。ベンチは隅の方にしかありませんので、お孫さんを見ていらっしゃるお年寄りの方が、遊具の近くで座れる場所が何箇所かあればいいのではないかと思います。

(30代 女性)

A： ご提案いただきました、使用料と遊具の修繕、安心・安全からのご指摘について全くその通りであります。

まず、使用料については見直いたします。何箇所かの修繕については計画的に毎年300万円を持って対応していきます。付き添いの方のベンチについても工夫します。

特に、利用している子供たちに事故があってはなりません。管理人には、厳しく注意を払いながら管理・監視するように指示しているところです。

回答日：平成23年6月13日 担当課：商工観光課

Q : コメリなどがある道からまっすぐ赤城神社の方へ向かったところにある川の上に架かった橋（野沢牧乙地区。橋の名称不明）について、橋の老朽化とでこぼこな道を危険視しています。また、道幅が狭く、帰省時期などは車が多いわりに1台通るのがやっとな幅となっており、歩行者がいた場合接触する危険があります。また電灯が無く暗いため、夜間も事故起こってもおかしくない危険箇所であると思います。

該当の橋について、橋の道幅の拡張工事（車2台が交差して通れる幅が理想）と免震・耐震等も含めた補強工事をお願いします。

（20代 男性）

A : 私の集落に行く途中に架かる「牧橋」の件かと思います。私も町議員当時から幾度となく架け替えや拡張を求めてきましたが、財政上の都合で実現できませんでした。ただし、大型車両の通行できる補強工事は行ってありますが、ご指摘の通り、狭いことで危険性のある所であります。今後、架け替えを視野に計画して参りたいと思います。

なお、橋の路面上の凸凹については早急に修理するよう、指示致します。灯りについては牧坂付近に防犯灯が設置されています。

回答日：平成23年6月13日 担当課：建設水道課

Q : よりっせの向かい側にあるガソリンスタンド横の空き地など、以前は何かがあったものの現在は何も無く放置されている土地が多く見受けられます。こうした土地について、何か有効な利用方法をお考えでしょうか。

また、町の活性化について、今後行う予定の対策などがありますでしょうか。ご教示いただければと思います。

（20代 男性）

A : 町では少子高齢化や後継者不足など人口の減少が最大の課題となっています。このため、経済対策、子育て支援、地域づくり事業やグリーンツーリズムなど、交流人口の拡大に積極的に取り組んでいます。

ご質問の空き家・空き店舗対策、野沢宿（越後街道）にヒントを得た取り組み、また、元気な地域づくりを目指して設立した「野沢まちなか再生プロジェクト」などでの議論を通して活性化に向けて鋭意取り組んでいるところです。内容がまとまり次第、順次できるものから予算化し、計画的に進めていきます。

回答日：平成23年6月13日 担当課：企画情報課

Q : 5月の連休によりっせに寄らせていただいた際、帰省で来ているらしき家族連れが「赤べこの大きなぬいぐるみはあるけど、このマスコット（こゆりちゃん）のぬいぐるみは無いね」といったことを言っているのを聞きました。また、Tシャツも置いてありましたが、Sサイズか子供用サイズしかなく、それより大きいものは現状置いていないとの回答でした。昨年に比べグッズが増えて宣伝が進んでいると感じましたが、さまざまな地方から人がやってくる交流ポイントとなるよりっせは、そうした外からの声もっと集めていくべきではないかと思います。

個人的には、①グッズ（さまざまなサイズのぬいぐるみの販売、Tシャツ（こゆりちゃん、白虎隊）の男性用サイズ販売、クッキー以外のこゆりちゃんを使った菓子の販売）の充実化を図る。②お客様の意見箱は店内ではなく入り口に置く（書いたら投函できるようポストみたいな箱も一緒に設置）。③外に設置してあるトイレの清掃を行き届かせる（ちょっと清潔感に不安のある状態でした）。④駐車場入り口にある大きな赤べこと同じように、大きなこゆりちゃんモニュメントを作って宣伝効果を高める。

上記の点が何とかなればと感じました。ご検討いただければと思います。

（20代 男性）

A : 非常に良く観察していただきましてありがとうございます。町のイメージキャラクター「こゆりちゃん」が登場してから1年くらいしか経っておりませんが、多くの皆さん、特に子供たちに愛されています。今回ご提言のあったグッズ、Tシャツあるいは菓子など現在企画中でありますので、早急に工夫された商品が店頭に並ぶようにいたします。

また、すでに「こゆりちゃん音頭」を製作し、イベントなどでPRに努めておりますが、モニュメントについては制作費など含め検討いたします。この他、トイレの清掃に関するご助言につきましては、早速指示いたしまして快適な環境に努めてまいります。

回答日：平成23年6月13日 担当課：商工観光課